



「日常」を描写した芸術家たち

ひろしま美術館で開催する「ル・シダネルとマルタン展」とのコラボ講座です。ル・シダネルとマルタンは、19世紀末から20世紀初頭に、印象派の表現を取り入れながら独自の世界観を表現し、象徴主義とも目されるフランス人画家たちです。本講座では、この二人の画家の特徴のひとつである「日常」の描写を中心テーマに据え、19世紀欧州の芸術同行、彼らに影響を与えた画家、さらには他国の芸術家との比較のなかで、その芸術性についてひもときます。

【日 時】 2021年 第1回:9月18日(土) 10:00~12:10
第2回:9月25日(土) 10:00~12:10

【会 場】 サテライトキャンパスひろしま(広島県広島市中区大手町1丁目5-3)

〔第1回〕 9月18日 (土)	10:00~11:00	イギリスとフランスの絵画に 写真の出現が与えた影響とは	県立広島大学 教授 吉本 和弘
	11:10~12:10	ル・シダネルとマルタンに見る 「日常」とその表現	ひろしま美術館 学芸員 農澤 美穂子

〔第2回〕 9月25日 (土)	10:00~11:00	日常の美を描いた表現者たち	県立広島大学 教授 柳川 順子
	11:10~12:10	フランスのアンティミスト(親密派)と 日本の画家たち	ひろしま美術館 学芸部長 古谷 可由

【受講料】 無料

【募集人数】 60名

【対 象】 どなたでも(美術・文学・文化に興味・関心のある方など)

【申込方法】 往復はがきの往信面の裏に①郵便番号、②住所、③お名前(ふりがな)、④電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、お名前(「〇〇〇〇」様)をご記入の上、2021年9月3日(金)(消印有効)までに以下の宛先にお送りください。

〒734-8558 広島市南区宇品東1-1-71
県立広島大学地域連携センター「ひろしま美術館連携講座」係
電話(082)251-9534

※締切日以降に受講票をお届けします。なお、申込多数の場合は抽選となることがあります。
(申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座以外の目的には使用しません。)

【主 催】 県立広島大学地域連携センター・公益財団法人ひろしま美術館

なお、新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては公開講座をオンラインに変更する場合がありますので、ご了承ください。

その際は、主催者のホームページに掲載し、申込者には個別に連絡します。

講座内容

●9月18日(土)

吉本 和弘 「イギリスとフランスの絵画に写真の出現が与えた影響とは」

19世紀はじめに発明された写真が絵画に与えた影響について、イギリスのラファエル前派の場合とフランス印象派の場合の比較を試みます。細密な自然描写を絵画に取り入れるのか、写真にできない革新的な描写方法を模索するのか、二つの方向性が見えてきます。

農澤 美穂子 「ル・シダネルとマルタンに見る「日常」とその表現」

ル・シダネルとマルタンは、薔薇に彩られた自宅の庭、身近な人物、働く人々など「日常」の光景を題材として、革新的な光の表現で知られる印象派の画家たちの手法を踏襲し、鮮やかな画面の作品を多数残しました。その独自性と、影響関係について考察します。

●9月25日(土)

柳川 順子 「日常の美を描いた表現者たち」

日常の中の美を穏やかな筆致で描いたシダネル。この近代フランスの画家と共鳴する作風を持つ表現者の一人として、唐の代表的詩人、白居易がいます。彼の詩を味読しながら、時空を超えてつながる彼らの普遍的な美意識に触れてみましょう。

古谷 可由 「フランスのアンティミスト(親密派)と日本の画家たち」

19世紀後半に親密な事物を描いたル・シダネルらを含む一連のフランス人画家たちを「アンティミスト(親密派)」と呼びますが、日本ではこうした題材が古くから描き続けられてきたことに着目し、両者の芸術の在り方についてひもときます。